

とうきょうすくわくプログラム 活動報告書

園名	ブライツ保育園東京入船
活動日時	令和 6 年 12月 16日
クラス名 (年齢)	星・宙・華組 (3.4.5歳)
年間テーマ	表現 ～絵本の世界・香育～

1.活動テーマ

香育～香りをを感じる～

〈テーマの設定理由 (子どもの姿)〉

子どもたちが日常生活を過ごす中で感じる力や表現する力を育みたい。
また、子ども自身の感じる力を探求して目に見えないものを表現することを楽しんでほしいと考えました。
五感を使って自分のイメージや感じたことを表現する楽しさを感じ、表現する力を育みたいと考えた。

2.活動スケジュール

身近にある香り・匂いに興味を持てるように活動を考える。
まずは分かりやすい"良い香り"に気づくことをねらいアロマの香りを感じ、目には見えない色で表現するという活動を設定する。その活動から、身近な"香りや匂い"に興味を持ち生活することを心地よいと感じる

3.環境をデザインする (活動のために準備した素材や道具、環境設定)

12種類のアロマオイル精油
絵の具各色・筆・パレット・つぼ
机・いす

4.探究活動の実践

〈活動内容〉

- ・目に見えない"香り"を色で表現するという活動を通して非認知能力を育む
また香りを感じるため呼吸を深くすることの心地よさも感じてほしい
- ・白の画用紙に感じた色を選んで塗っていく
- ・色の表現には正解不正解はなく保育士が助言することはしない
- ・香りと色の表現をしたものはクリスマスのリースとして持ち帰れるよう活動を進める

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの言葉・姿	写真
<p>・アロマオイルの香りに初めて出会う子どもが多く興味津々でスタートした。</p> <p>・12種類に香りについて知らせてもらい1種類ずつ違う香りに気が付き子ども同士共感していた。</p> <p>・この香りは何色かな～? 〇〇ちゃんと同じ匂いを気に入った!など異年齢での会話も弾んでいた。</p> <p>・丸い画用紙に丁寧に1つ1つ色を選び塗っていく中で同じ香りでも感じる色が違うことにも気付く子どもがいた</p> <p>・いくつか選んで色を付けた画用紙を丸く糊付けをしてクリスマスのリースとして持ち帰り自宅でも引き続き香りが楽しめる!と喜んでいた</p> <p>・お気に入りの香りを何度も匂う姿も見られ子どもたちにとって心地の良い時間になっていた</p>	

5.振り返り (振り返りによって得た保育者の気づき)

子どもたちの純粋な感性に気付いた。大人は経験の中で決めつけてしまうことも増えてしまうが、子どもは素直に感じたことを表現できる。見えないものを自由に表現したり異年齢のお友だちとの意見交換も活発に行われすごく良い取り組みになったと感じた。今後「(香り)」という感性にどんどん磨きををかけてほしいと願い、保育の中でも声掛けをしていきたいと感じた。